

2. 不法なリベロリプレイスメント

ルールブック P. 4 / P. 60～62

不法なリベロリプレイスメントとは

… リベロリプレイスメントの間に完了したラリーがないとき
セカンドリベロや入れ替わった選手以外と入れ替わったとき

①不法なリベロリプレイスメントが次のラリー開始前に発見された場合

次のラリー開始前とは

… サービスの許可のホイッスル後～サービスのヒットの前

アシスタントスコアラーは、サービスの許可のホイッスル後からサービスのヒットの前に
ブザーを鳴らし、指摘する。

↓

主審は、遅延の罰則(遅延警告 or 遅延反則)を与える。

↓

副審は、元のポジションに戻る。

(リベロがポジション4に残る場合以外は、リベロリプレイスメントは認めない。)

※ 遅延反則で、相手に1点が与えられている場合でも、一連のプレーの結果で1点が与えられて
いるわけではないので、ラリーが完了していることにはならない。

②不法なリベロリプレイスメントの指摘がサービスのヒット後になってしまった場合

アシスタントスコアラーが、サービスのヒット後にブザーを鳴らし、指摘する。

↓

主審は、不法な選手交代として処置する。

↓

副審は、元のポジションに戻る。

(ラリーが完了しているため、その後のリベロリプレイスメントは認める。)

注意 サービスのレシーブでの指を使ったオーバーハンドの動作

ルールブック P. 4 / P. 41

ルールブック 4ページ < 改正点 3 ヒットの特性について > およびルールブック 41ページ
< 9.2 ヒットの特性 規則 9.2.4 > に記載されている次の規則は、**削除されました**。

サービスのレシーブでは、指を使ったオーバーハンドの動作でダブルコンタクトや
キャッチをした場合は反則となる。

したがって、『(規則 9.2.3.2) チームの最初のヒットでは、1つの動作中であれば、ボールは身体のさまざまな部分に連続して接触してもよい。』により、2012年度と同様に、サービスおよびアタックヒットのレシーブに関して、1つの動作中であれば、ダブルコンタクトの反則は起
こらないこととなります。

問い合わせ先

審判長 小川 浩二

電話 090-2538-2465